



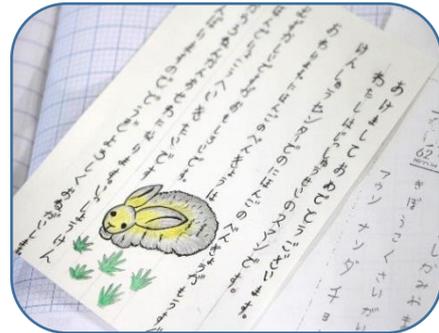
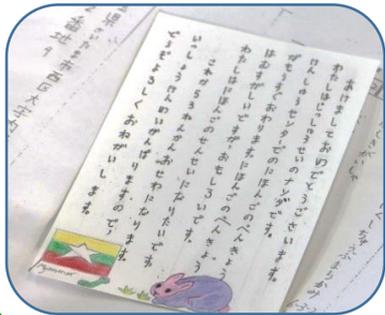
新年に在籍していた実習生の言語（7ヶ国語）で書かれた「あけましておめでとうございます」4階ロビー掲示中です。

企画・編集 澁谷 健司・栗又 由利子

令和5年が明けました。実習生の皆さんは、お正月休み返上で、1月2日から、元気に日本語学習に取り組んでいます。新年初日の教室からは「せんせい、しんねんあけましておめでとうございます」と実習生の皆さんの大きな挨拶の声が聞こえて来ました。昨年はコロナ禍で実習生が一人もない寂しい新年を迎えたことを思うと、感慨深いものがあります。まだまだ予断を許さない状況下ではありますが、今年こそ、新型コロナウイルスの感染が収束し、マスクをとった実習生のみんなの笑顔が教室に溢れる日が来ると信じ、その時まで皆さんが健康で、安心して日本語学習に励めるよう全力でサポートしてまいりますので、本年もどうぞよろしくお願いいたします。

あじけんスコープ Vol.117 ～ みなさん、あけましておめでとうございます ～

新年第1回目のあじけんスコープは、昨年末に実習生が年賀状書きに挑戦した様子をレポートします。授業は「あけましておめでとうございます」の新年の挨拶の練習から始まり、日本の十二支についての学習もしました。そして、最後には、今年の干支「兎」のイラストを思い思いに描いて、素敵な年賀状が完成しました。来日して初めて日本の伝統的な文化に触れ、皆さんとても嬉しそうに、生き生きと活動していました。



今月の実習生

今月は、カンボジアからの実習生、写真向かって左から LUON LOEMTEANG (ティン) さん・ORK MANIN (マニン) さん・HORT LYHONG (リホン) さん・PIN THONA (トナ) さんを紹介いたします。彼らは、来日したての実習生としては珍しく、「ほっかいろう」を持つ姿が昨年末から目撃？されてきました。教務室では「どうやって、ほっかいろうを知ったんだろう？どこで買ったんだろう？」と話題になっていました。そこで、取材してみると心温まる話を聞くことが出来ました。



はじめまして、わたしたちはカンボジアからきました。にほんは とてもさむいです。かいしゃのひとはさむさいたいさくのためやく1かげつぶん のほっかいろうをじゅんびにくねなりたくらうでわたしたちに わたしてくれました。ほっかいろうのおがけでいちにちじゅうたかかとてもかいてきてほんとにかんしゃして います。もうすぐかいしゃへ いけるのでわたしたちは とてもうれしいです。よにんでちからをまわせてがんばります。

ティン マニン リホン トナ

あじけん流日本語授業

～お正月遊び「福笑い」を使った活動～

今月のあじけん流日本語授業は、お正月遊び「福笑い」を使った活動をご紹介します。

まず、日本の「お正月遊び」、羽子板、コマ、福笑いなどを紹介します。その中の「福笑い」を、これから行うということ、「福笑い」のゲームをするにあたっての簡単なルールを説明し、その後、2～3名のグループにわかれ、「福笑い」の顔を作ります（写真①）。

出来上がったら、グループごとに「福笑い」をしていきます。グループで作った顔の輪郭をホワイトボードに貼り、グループの中の実習生1名は目隠しをして、その輪郭の絵の前に立ちます。同じグループの実習生は、目隠しをした実習生に「これは、くちです」などと伝えながら、顔の部位を渡します（写真②）。顔の部位の言葉もしっかりと覚えていないと、ゲームが進められません。次にその司令塔の実習生は、目隠しをした実習生に「みぎ！うえ！すこしひだり！」と日本語で指示していきます（写真③）。グループはできるだけ違う国の実習生で作っているの、相手にわかる日本語で伝えなければなりません。また、上、下、右、左という基本的な位置詞だけではなく、「斜め上」「右斜め下」など少し難しい日本語も使わないと、思った通りの顔を作ることができないので、うまく日本語がお互い通じず、しびれを切らした実習生が思わず、修正の手を出してしまうなんてこともあります（写真④）。

出来上がった「顔」をホワイトボードに展示します（写真⑤、⑥）。その「顔」の中でどの顔が一番「面白い」か、クラスの実習生の判定で決定します。

今年も実習生が楽しく、かつ自然に日本語が身に付くような活動を、講師自身も楽しみながら考えていきたいと思っております。本年もどうぞよろしくお願いいたします。



写真1：グループごとに「顔」を作成



写真2：顔の部位の名前を言って渡す



写真3：位置詞を使ってしっかりと指示！



写真4：手を出してしまったため、クラスメートに怒られていました



写真5、6：個性的な「顔」が並びました。「★」が一番面白かった「顔」です。

